

## JRCA 2026 年度 第 1 理事会 議事録

2026 年 1 月 30 日 (金) 10:00～

文京シビックセンター&Web 会議

参加者：福永会長、中島、高桑、伊藤、  
齊藤、渡辺、保井、津田

### 1. 新年度の総会開催について

全議案が承認された。

### 2. JRC ガイドブックについて

#### ・ガイドブックの広告掲載と制作

広告営業の進捗状況が確認された。

制作課題として、広告増による印刷ページ増に伴うコスト増が挙げられた。

### 3. その他

#### 3-1. ウェブサイトの改善もしくはリニューアルについて。

##### A：会員選手の紹介ページ設定

顔写真とマシン写真を関連付けるなどのコンテンツを提供可能。

複数クラスに参戦するコ・ドライバーの扱いが課題。

##### B：スポンサーメリットも加味したリニューアルを検討。

##### C：設計には半年ほどかかると見込まれる。

#### 3-2. スポンサーメリット向上と情報発信の強化

##### A：ラリーの結果や活動内容をメディアや協賛企業へ広く伝える PR 活動、

協賛企業への活動報告書が作成されていないことが問題点として認識された。

全日本ラリーシリーズとしての公式 SNS 発信が不足している。

##### B：露出度の計測と報告

ウェブサイトのアクセス数やメディア露出量を測定しデータ化し、スポンサーに提示する必要がある。過去の調査ではイベント間で露出量に格差があった。

##### C：具体的な強化策

・イベント終了後、レポートや写真、ビデオが公開された段階で、協賛企業と会員にメールで通知する。週半ばのレポート送信を目指し、テンプレート化も検討。

・連携強化: JAF や JGR との連携を強化するため、ウェブサイトにも相互送客可能な

ナーを設置する案が出された。

### 3-3. 組織運営とドライバー育成

#### A：ドライバー育成

若手ドライバー（コ・ドラ）の育成が必要との認識が共有された。

若手とベテランが共存するスポーツであることが言及された。

#### B：会員獲得と組織強化

モビリティショー来場者など未加入者へのアプローチを強化。イベント参加者リストと照合し個別に働きかける。

シーズン初めのブリーフィングで会長から加入を呼びかける。

自動更新が設定されていない会員へのフォローアップも行う。

### 3-4 将来的な理事会の運営方法

- ・理事改選にあたり、まず現理事の意向を確認後、会員に立候補を公募する。将来的には出席率を規則に明記することも検討。
- ・議事録には各ラリーの問題点だけでなく具体的な改善策を併記し、主催者へは建設的な提案をすることが重要と確認された。

### 3-5. 次回理事会について

第2回理事会は2月16日(月)の週で検討する。

以上